

新春対談 2014



原田理沙



井上得一



澤平真之介



小島未沙稀



小牧市長 山下史守朗

市長と新成人がこれからの小牧について対談します

これからの社会を担っていく若い世代の中から、今年成人式を迎えた4人の皆さんを、パークアリーナ小牧に迎え、山下史守朗市長と「小牧の将来」について語っていただきました。(敬称略)

自己紹介

澤平真之介 大学で、スポーツ関連のさまざまな分野の勉強をしながら、スポーツに関する資格取得に励んでいます。自宅が空手道場であり、自分も子どもの頃から空手をやっている。将来は空手の指導者になりたいと思っています。

原田理沙 大学で、子どもの保育や教育について学んでいます。将来は、子どもと一緒に楽しみ、子どもの立場に立って考えられるような保育者になりたいと思っています。

井上得一 大学で、教員免許の取得を目指して勉強しています。将来の夢は数学の先生になることです。私は子どもの頃から体を動かすことが好きで、最近特にサッカーを楽しんでいます。時間をみつけては、友人を誘って楽しみながら続けています。

小島未沙稀 専門学校で、理学療法士を目指して頑張っています。学校での勉強は専門的なのが長く、レポートもたくさんあって大変ですが、休日には、社会人の方と一緒に小学校からずっと続けてきたバスケットボールをして息抜きをしています。



国際大会も行われるパークアリーナ小牧をもっと身近に
澤平 今日の対談の会場は、私が子どもの頃からよく遊びに来ていたパークアリーナ小牧なので、とても嬉しく思っています。

市長 市スポーツ公園総合体育館パークアリーナ小牧は、バレーボールやバスケットボールをはじめ、フットサルや剣道、障がいがある人たちのスポーツ大会など、さまざまな国際大会や全国大会が行われており、一年を通じて全国各地からたくさんの人たちが訪れます。また、私が市長に就任した直後に、イタリアのサッカークラブチームのACミランと提携をして、ACミランサッカースクールの日本における拠点にもなっています。



このように、パークアリーナ小牧についてはさまざまな形でPRを進めています。これからもPRしていきます。また、全国から集まってくる選手皆さんの頑張りをもっと市民の皆さんにも見に来ていただきたいので、皆さんが今後さらに利用しやすいパークアリーナ小牧にしていきます。

子育てしやすい環境づくり

原田 私は将来保育士になって、子どもたちと関わる仕事をしたいと考えており、子育て支援の制度についても大学で学んでいます。現在、市で進められている保育園の民営化について、進め方とその目的について教えてください。

市長 現在は、市内19保育園すべてが市立ですが、そのうち半数程度の民営化を予定しています。民営化の目的は、保育時間や保育内容、職員の勤務体制などが比較的自由度の高い民間事業者の力を借り、多様化する保育ニーズに柔軟に対応できる体制をつくるということです。公立と私立それぞれの良い面を發揮して、互いに切磋琢磨しながら、保育環境を充実させたいと考えています。

共働き世帯が増え、仕事と子育てを両立できる環境づくりが不可欠であり、少子化対策としても重要な課題の一つです。この保育園民営化をはじめ、さまざまな子育て支援策をさらに充実させ、子育てしやすい環境づくりを進めていきます。子育てしやすい環境の中で、子どもたちにはのびのびと成長して欲しいと思います。

「夢・チャレンジ」始まりの地小牧

小島 2013年は、織田信長公の小牧山城築城450年の記念事業で「夢・チャレンジ」始まりの地小牧」をテーマにさまざまな新しい事業が行われました。

このことを踏まえて、今後の市長の「夢・チャレンジ」はどんなことを考えていますか。

市長 現在の小牧は、諸先輩のこれまでのご努力によって、他に誇る事業や制度、施設があります。一方で、今後小牧にも例外なく訪れる人口減少、少子・高齢化問題を始めるとする社会問題や、市民の皆さんのライフスタイルの変化など、私たちを取り巻く環境や市民生活は今後ますます大きく変





**山下市長から
新成人の皆さんへエール**

成人おめでとうございます。
大人としての第一歩を踏み出した皆さんには、ぜひ自分の夢に向かってチャレンジして欲しいと思います。
そして、皆さんが住むこの小牧市がもっと元気で活気があふれるまちになるように、私も頑張りますので、一緒に盛り上げていきましょう！
皆さんのこれからのご活躍を祈念しています。

対談後記

小牧市が子育てをしやすい環境だということがとてもよく分かりました。大学で保育について学んでいる私には、興味深いお話ばかりでこれからの勉強に役立てていきたいと思いました。今回の対談で改めて小牧のことを知るよききっかけになりました。



原田 理沙

今年成人を迎えたので、自分を育ててくれた両親や地域の方々、小牧市に対する感謝の気持ちを常に心に置き、責任を持って行動したいと思います。

はじめは少し緊張しましたが、いざ対談してみると、市長はとても気さくでユーモアのある方だと思いました。そして、対談の中では、小牧市の現状やこれから私も大切になってくる税金のこと、



澤平 真之介

私なりに考えた小牧に対する要望にも真剣に答えていただきました。

これからはもっと小牧市政に興味を持ち、若い世代としてやれることを考え、小牧を盛り上げていきたいと思っています。

市民にとってより良い小牧にするために、現在だけでなく未来の小牧に対しての市長の考えも聞けて良かったです。中でも、若い人や子どもたちの将来の活躍を願うフレッシュな考えがいくつもあり、小牧はこれからも活力のある素晴らしい市であり続けることができると感じました。

成人を迎え、社会人としての自覚を持ち、躍進する小牧の一つの力となれるよう、常に高い目標を持って尽力していきたいです。



井上 将一

小牧の良さや、アピールポイントを改めて知り、小牧の未来への期待がとても膨らみました。私たちが日々何気なく生活している中で、小牧が少しずつ進歩し、新たな挑戦や改善をしているのを知り、生まれ育った場所が小牧でよかったと思いました！

これからは、今まで以上に小牧を大切にしていきたいと思いました。また、より多くの市内外の人たちに、小牧の良さをもっと知ってもらいたいと思いました。

小島 未沙稀



市長 2013年は皆さんが住むこの小牧の魅力を見直し、誇りと愛着を深めていただけたらと思う。市民の皆さんとともにさまざまな記念事業を行って来ました。
そして今年、昨年のテーマであった「夢・チャレンジ、始まりの地小牧」をさらに進めるべく、「小牧山」と「ごども」の2つを柱として地域ブランド戦略を展開していきたいと考えています。

「小牧山」の整備
まず1つ目に、小牧のシンボルである小牧山を、「近世城郭のルーツ、信長の小牧山城」として、さらに魅力的な史跡となる整備を



「3点セットプラス1」として、この4〜5年で重点的に取り組むたいと思っています。
「3点セット」は、「山頂の石垣整備」、「旧本庁舎を取り壊しての史跡公園整備」、「史跡センターの整備」です。
特に、「史跡センター」については、小牧山の資料館として、いよいよ整備に着手します。
「プラス1」は、例えば、春の桜や秋の紅葉など、四季折々の美しい小牧山の景観を整える「景観整備」を実施することです。

**「ごども」の「夢」を
みんなで応援するまち**
2つ目は、「ごども夢・チャレンジNo.1都市」を目指します。
小牧は、「子育てしやすいまち」との認識が定着しつつあります。が、「子育て支援」をさらに一歩進めて、子どもたちが夢を育み、それぞれの夢に向かって、のびのびと挑戦できるように、みんなで応援するまちづくりを行おうというものです。
まずは、子どもたちの「夢育て」です。さまざまな事業を通して、子どもを育む環境づくりを進めます。
また、海外との交流事業でも、



子どもたちの交流を拡大し、子どもたちの視野をグローバルに広げたいと思います。
私たちの宝物である子どもたちの「夢」への挑戦を、まち全体で、みんなで応援する。そのことが、世代を超えた市民のつながりを生み、すべての市民が暮らしやすい、支えあいのまちづくりにつながっていくと確信します。
そんな夢のあるまちづくりを目指したいですね。